

東アジア若手天文学者会議(EAYAM)2017主催

あす公開講演会 「天文学最前線」

天文学における「大発見物語」

石垣島天文台施設責任者 花山秀和

2017年11月13日から17日にかけて、東アジアの若手天文学者が集まり研究発表を行う国際会議「東アジア若手天文学者会議(East Asian Young Astronomers Meeting, EAYAM)2017」がアトホテル石垣島で開催されています。本会議は主に日本、中国、韓国、台湾の若手研究者を対象として、天文学研究の相互交流を促進することを目的

として行います。これまで2-3年の間隔で定期的に開催しており、今回の日本開催で6回目を迎えます。若手研究者が研究発表を通じた相互交流を行うことにより、近年大型観測施設の国際共同利用、理論研究などにおいて大きな成果を挙げている東アジアの天文学の研究協力体制のさらなる発展を目指します。

これに関連し、EAYAM2017では、一般の方を対象とした公開講演会を以下の日程で行います。天文学の第一線で活躍する若手研究者の大宮正士さん(国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室特任研究員)と鈴木尚孝さん(東京大学国際高等研究所カブリ数物連

携宇宙研究機構特任助教)を講師に迎え、未知の惑星の姿を見せてくれる太陽系外惑星探しや、現代物理学最大の謎の一つである暗黒エネルギーに関する研究など、最先端の研究トピックスをご紹介します。どなたでもお気軽にご来聴ください。

日時・11月18日(土)

午後2時開演

会場・沖縄県立石垣青少年の家 大研修室

主催・東アジア若手天文学者会議(EAYAM)

2017

共催・NPO 法人

八重山星の会

講演1「太陽系外惑星発見絵巻・天体観測によつてめぐりあう地球にそっくりな惑星」

講演2「暗黒エネルギー発見物語・謎に迫る最新の観測と将来の計画について」

講師・大宮正士(国立天文台 太陽系外惑星探査プロジェクト室 特任研究員)

講演2「暗黒エネルギー発見物語・謎に迫る最新の観測と将来の計画について」

講師・鈴木尚孝(東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構特任助教)

定員・60人(入場無料)

対象・内容は主に小学校高学年以上を想定していますが、どなたでもご来聴いただけます。

申込・NPO法人八重山星の会(0980)88

・6558までお電話で

お申し込みください。

※空席がある場合には当日のご参加も可能です。

